

法務省保護局長視察



施設内をご案内



帰性会玄関前にて
前列中央が保護局長



飾ってある絵手紙などにも
感心されていました。

平成二十五年三月七日、更生保護のトップ官僚である法務省齋藤雄彦保護局長が視察の為、帰性会を来会されました。兒玉重夫理事長ほか役員がお迎えし、萱原施設長が居室や娯楽室、食堂や風呂場など施設の説明と案内に当たり、生活環境の実態等について視て頂きました。帰性会では、過去の犯罪等で区別することもなく出所者等を積極的に受け入れ、多くの者を保護していることや、自立に向けたさまざまな支援活動に対して、高い評価を頂きました。

また、支援くださっている皆様からの活動や援助の多様さにも、大変感心されていました。

就職説明会

協力雇用主 来会

協力雇用主による就職説明会を何度か開いて頂きました。写真は平成二十五年八月二十六日開催の説明会です。

これまでは、就職希望者があれば、企業へ連れて行き面接を受けさせていましたが、協力雇用主に来て頂き、帰性会施設内にて説明会及び面接等を行って頂けることになりました。

はじめは、消極的な入会者達を半強制的に説明会に参加させていましたが、慣れた施設内であることや、仲間と一緒に話しを聞けることもあつてか、緊張も軽減されるようで、積極的に質問をするなど意欲的にもなってくれます。そのまま面接となり、就職が決まる者も多くなりました。

これからも、できるだけ多くの入会者達が社会復帰への第一歩である就職に結びつけられるよう、就職説明会の開催をお願いしていきたいと思ひます。

協力雇用主の方々に、深く感謝いたします。



協力雇用主による
説明会と面接

協力雇用主とは

犯罪・非行の前歴のために定職に就くことが容易でない人達。その過去の犯罪歴にこだわらず、事情を理解した上で一般の人と同じ待遇で積極的に雇用し、その立ち直りを支援・協力する民間の事業主のことです。

刑務所や少年院を出てやり直そうと頑張っている、前歴があることで就職ができず、生活に困るなど、また犯罪を繰り返してしまう者も多いのです。再犯防止のためには、就労支援や雇用の確保がとても重要です。ご協力いただける協力雇用主を、保護観察所を通して募集しています。



あとがき

『ふくでん 第8号』です。皆様のご協力に感謝申し上げます。

「ふくでん」は、「善い行いの種を蒔く」との意とか。日々三省し、更生保護の一端を果たしたいと思ひます。職員一同、ますます志を高くして邁進してまいります。好事魔多しということもありますので叱正を頂き日々着実に歩みたいと思ひます。

何卒、今後とも宜しくお願い申し上げます。



千葉県帰性会 ホームページアドレスは
<http://www.chibaken-kiseikai.org/>
または『帰性会』で検索してください。